

修理および保証（保証書）について

修理について

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、差込みプラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店または下記に、ご相談ください。なお、ご相談されるときは、シャライサー OBS-01型及びお買いあげの時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
- このシャライサー OBS-01型に使用している部品は、性能向上などのために一部予告なしに変更することがあります。
- 保証期間内でも次の場合には有料になります。
 - (イ)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ)お買上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ)火災・地震・風水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。

保証書について

- このシャライサー OBS-01型には「保証書」がついています。
- 保証書はお買いあげの販売店でお渡しますから、記載内容をご確認のうえたいせつに保管ください。
- 保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときはすぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。
- 万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買いあげの販売店が無料修理いたします。
- このシャライサー OBS-01型の保証期間は、お買いあげいただいた日から1年です。

販売元

株式会社 シンガーハッピージャパン

〒110-0016 東京都台東区台東2-9-5 TEL. 03-3833-5020
FAX. 03-3834-1636

E-mail: foodmachine@singerhappy.co.jp
URL: http://www.singerhappy.co.jp

製造元

ハッピー工業株式会社

〒990-2251 山形市立谷川13-3515 TEL. 023-686-2251
FAX. 023-686-2215

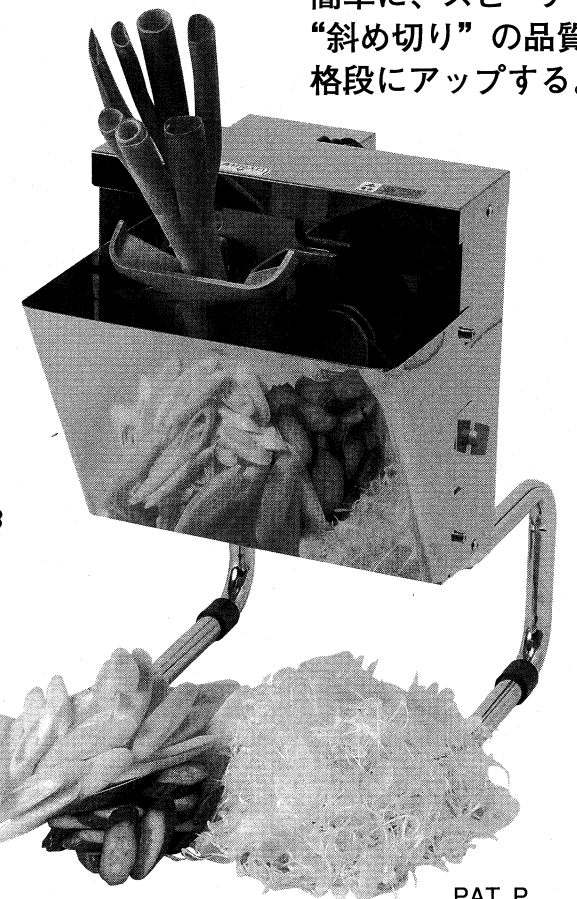
保証書

型 名	シャライサー OBS-01型			
保証期間	1 年 間	お買い上げ日	年 月 日	
ご愛用者	ご住所 ご芳名	〒	TEL()	
販売店	住 所 店 名	〒	TEL()	

シャライサー OBS-01 取扱説明書

保証書付

簡単に、スピーディに、
“斜め切り”の品質が
格段にアップする。



PAT.P

 **HAPPY**



もくじ

安全上のご注意	1	刃物研磨の仕方	9
各部のなまえ	3	機械停止時の対処の仕方	11
切れる食材、切れない食材	4	お手入れの仕方	12
正しい使い方	4	ちょっとお調べください	12
安全カバー着脱の仕方	5	食材切り長さ参考表	13
投入口着脱の仕方	6	機械仕様・メモ	14
刃物着脱の仕方	7	修理および保証について	裏表紙

安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

この注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味

- | | | |
|--|-----------------|---|
|  | 分解禁止 | 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 |
|  | コンセントを抜く | 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。 |

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

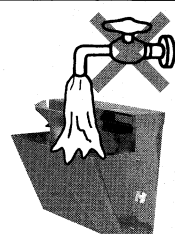
修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わない

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。



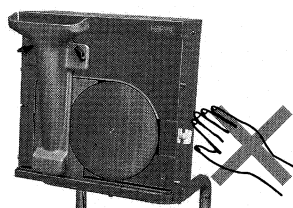
子供に使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

火傷、感電、けがをする恐れがあります。



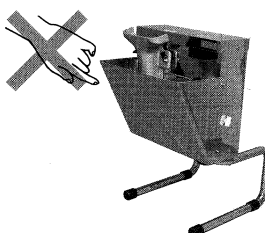
刃物は鋭利なので、刃先には直接手を触れない

けがをする恐れがあります。



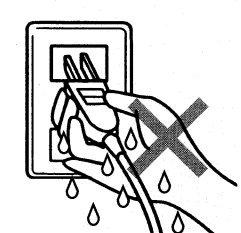
運転中、本体には手を触れない

けがをする恐れがあります。



電源プラグを抜くとき、濡れた手では絶対に行わない

ショート・感電の恐れがあります。



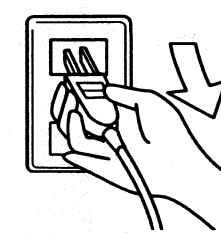
安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火する事があります。



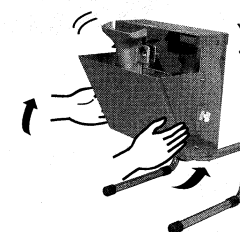
スイッチ「切」を確かめてから、電源プラグを抜き差しする

けがの原因となります。



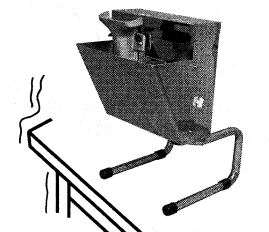
運転中に移動させない

けがの原因となります。



不安定なところでは使用しない

けがの原因となります。



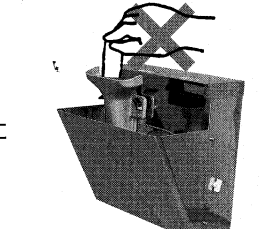
内側に付いた調理材料を取り出すときは、カッターを取り外してからにする

けがをする恐れがあります。



投入口へ調理材料を、指やはし等で押し込んだりしない

けが、故障の原因となります。



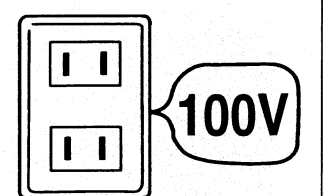
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟みこんだりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



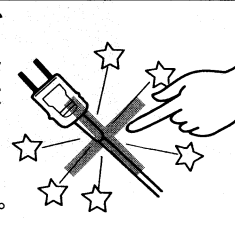
交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因となります。



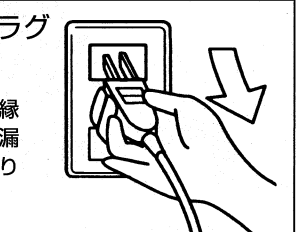
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因となります。



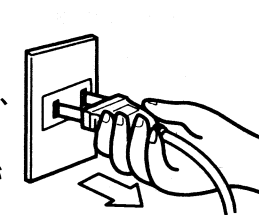
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けが、やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

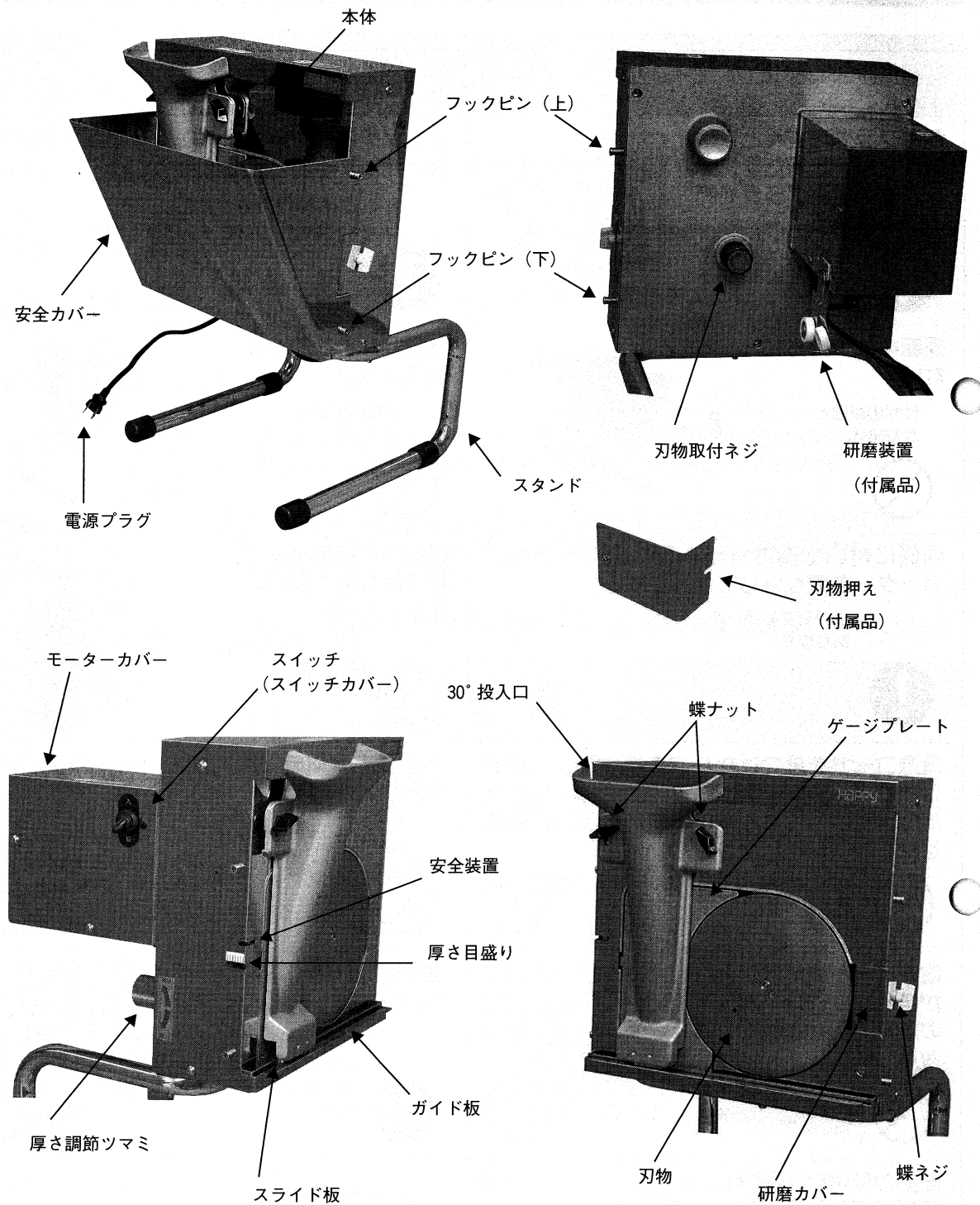


部品の取付け、取外し及びお手入れをするときは、スイッチを切り、プラグを抜く

けがをする恐れがあります。



各部のなまえ



オプション

- ・ 15°、35°、40° 投入口
- ・ 調節式投入口 (15°~30°)

切れる食材、切れない食材

① 切れる食材

- ・ 長ネギ (関東ネギ)、きゅうり等軟らかく腰の強い食材 (太さが35mmくらいまで、曲がりの少ないもの)

※ 太さが35mm以下でも、曲がりのひどい食材は、投入口に引っかって切ることができません。

② 切れない食材

- ・ 硬い食材
- ・ 葉ネギ、にら等の軟らかく腰の弱い食材
- ・ 長ネギ (関東ねぎ)、きゅうり等でも、曲がりかたがひどい食材

※ 硬い食材を切って、機械が故障した場合、保障期間内であっても、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

正しい使い方

- ① ネギは、根の部分を切り取り、青い葉の部分は、投入口にはいる大きさ (太さ35mm程度) になるように、取り除いてください。

- ② 厚さ調節ツマミを回して、好みの厚さに調節を行ってください。

- ・ 厚さ調節用目盛は、1目盛約2.5mmです。
- ・ 切れる範囲は約1mmから15mmです。
- ・ 厚さ調節ツマミを **薄い** の方向に回すと、薄く切れます。
- ・ 厚さ調節ツマミを **厚い** の方向に回すと、厚く切れます。

- ③ ネギの白い部分 (根に近い方) を下にして、投入口に静かに入れてください。

※ 投入口に、ネギを無理に押し込んだり、高い所から勢いよく入れたり、絶対にしないでください。ネギが詰まって機械が停止し、機械故障の原因となります。

※ 万一機械が停止してしまった場合、すぐにスイッチを切り、**機械停止時の対処の仕方** を参照して、対処してください。

- ④ スwitchを **入** にしてください。

(刃物と投入口が同時に動き出し、ネギが切れ始めます。)

※ スwitchを入れる時、機械に手等を絶対に置かないでください。けが、機械故障の原因になります。

- ⑤ ネギが、投入口の1/3くらいになったら、次のネギを **食材投入口** のシールのところから、静かに投入口に入れてください。投入口が動いている状態でも、簡単にネギを入れることができます。

投入口が動いている状態で、うまくネギが入られない場合は、一度スイッチを切ってから入れてください。

※ 動いている投入口には、絶対に触れないでください。けが、機械故障の原因になります。

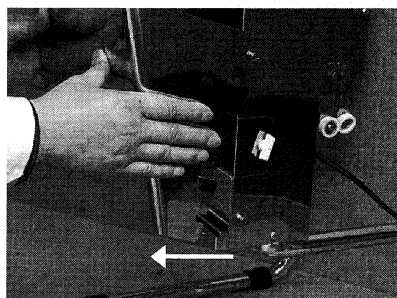
- ⑥ 作業が終わったら、必ずスイッチを **切** にし、コンセントから差し込みプラグを抜いて、機械のお手入れをしてください。

※ 高温多湿での使用は避けてください。

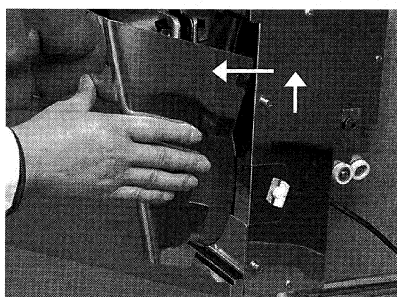
水滴が機械内部にたまり、さびが発生して、機械故障の原因になります。

安全カバー着脱の仕方

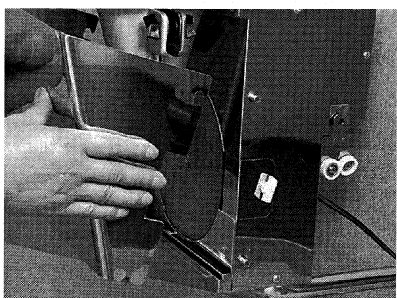
【外し方】



① 電源プラグを抜き、スイッチが「切」になっていることを確認してください。



② 安全カバーの下側を前方に、フックピン（下）から引き抜いてください。



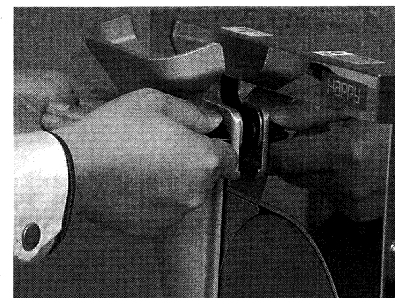
③ 安全カバーを少し上に持ち上げ、前方に引くと取外せます。

【着け方】

- ① 電源プラグを抜き、スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- ② 安全カバー上側の切り欠き部分を、フックピン（上）に最後まで差し込み、少し下に押し下げてください。
- ③ 安全カバーの下側切り欠き部分を、フックピン（下）に差し込んでください。
 - ※ 本体左側にある角抜き穴の中には、安全スイッチが入っており、安全カバーを確実に取付けないと、機械が動かないようになっています。
 - ※ 安全スイッチに、必要以上の力を加えたり、安全カバーの突起部分以外の物で、突っついたりしないでください。機械故障、けがの原因になります。

投入口着脱の仕方

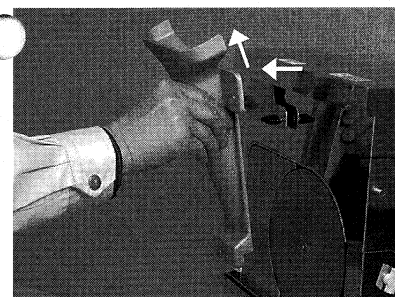
【外し方】



① 電源プラグを抜き、スイッチが「切」になっていることを確認してください。

② 安全カバーを取外してください。（安全カバー着脱の仕方参照）

③ 投入口を締付けている蝶ナット2ヶを取外してください。（蝶ナットが紛失しないように注意してください。）

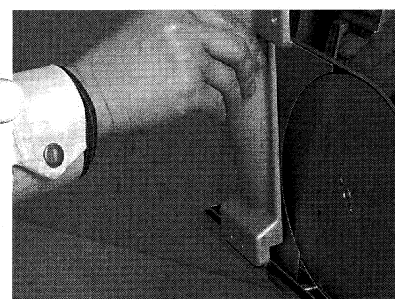


④ 投入口上側を3mmくらい手前に引き、真上に持ち上げ、本体のガイド板に刺さっている、投入口下部のスライド板を引き抜いてください。

⑤ 投入口下部のスライド板が本体のガイド板から抜けたことを確認して、投入口を手前に引いて投入口を取外してください。

※ 投入口下部のスライド板が、本体のガイド板から抜けないまま、無理に取外すと、ガイド板が変形し、うまく切れなくなったり、機械故障の原因になります。

【着け方】



① 電源プラグを抜き、スイッチが「切」になっていることを確認してください。

② 投入口下部のスライド板を、本体のガイド板入り口に合わせ、投入口の取付け穴を、移動ベースのネジに合わせ、入れてください。（同時に）

③ 投入口のスライド板が、本体のガイド板に入るように、投入口の長穴の分だけ真下に最後まで押し下げ、蝶ナット2ヶ所を確実に締付けてください。

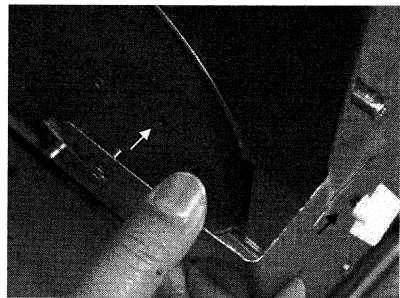


※ 投入口のスライド板を本体のガイド板へ、無理に斜めから入れないでください。ガイド板が変形し、うまく切れなくなったり、機械故障の原因になります。

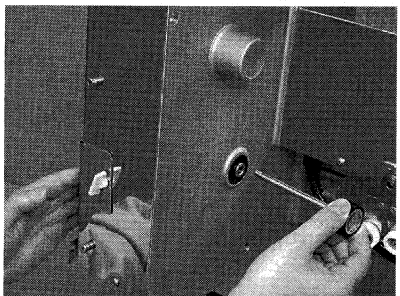
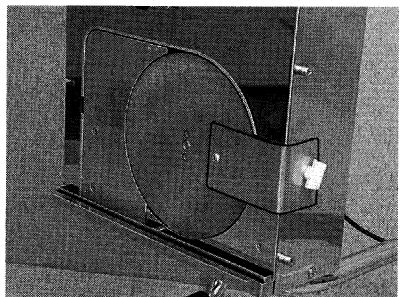
※ スライド板を、ガイド板へ入れる時、必要以上に力を加えないでください。機械故障の原因になります。

刃物着脱の仕方

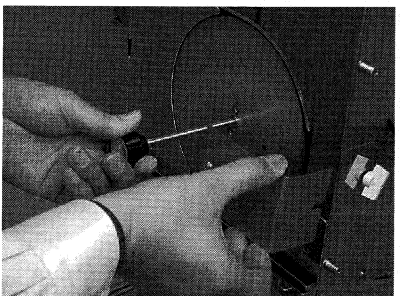
【外し方】



- ① 電源プラグを抜き、スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- ② 安全カバーを取外してください。(安全カバー着脱の仕方参照)
- ③ 投入口を取外してください。(投入口着脱の仕方参照)
- ④ 研磨カバー取付け用の蝶ネジを2回転くらいゆるめ、付属の刃物押えのピンを刃物のピン穴に合せて、最後まで押込み蝶ネジを締付けて固定します。



- ⑤ 左手で刃物押えを軽く押え、右手で本体後ろの刃物取付けネジを、「ゆるむ」の矢印方向に回して取外してください。
※ 刃物は大変鋭利にできています。刃の部分には絶対触れないでください。けがをする恐れがあります。



- ⑥ 右手で取外した刃物取付けネジを、本体前の方向から、刃物中央のネジ穴へ、「しまる」の矢印方向に最後まで回し入れてください。
- ⑦ 蝶ネジをゆるめ左手で刃物取付けネジを持ったまま、刃物押えを取外してください。
- ⑧ 刃物取付けネジの柄の部分を持って、まっすぐ前方に、ゆっくり引き出してください。
※ 刃物は大変鋭利にできています。刃先に触れたり、落としたりしないように注意してください。けがをする恐れがあります。

※ 刃物を本体から引き出す際、刃先を本体に当てないように注意してください。刃つぶれ、刃こぼれをおこして、刃物の切れが悪くなります。

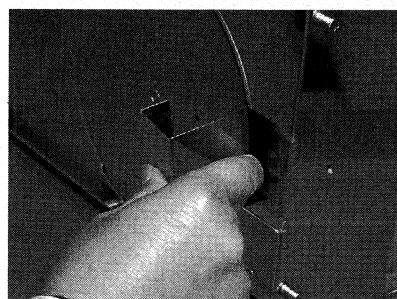
【着け方】

- ① 電源プラグを抜き、スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- ② 刃物の平らな面の中央ネジ穴に、刃物取付けネジを、「しまる」の矢印方向に最後まで回し入れてください。
- ③ 刃物取付けネジの柄の部分を持って、本体の位置決めピン穴に、刃物の位置決めピンが合うように、ゆっくり最後まで押し入れてください。(ピンが完全にピン穴に入っている場合、本体表面と刃物表面は、ほぼ平らになります。)
- ④ 左手で刃物取付けネジを持ったまま、刃物押えのピンを刃物のピン穴に合せ、最後まで押込み蝶ネジで取付けてください。
- ⑤ 取付けネジを、「ゆるむ」の矢印方向に回し取外してください。
- ⑥ 左手で刃物押えを軽く押えたまま、右手で取付けネジを本体後ろのシャフト穴に入れ、「しまる」の矢印方向に、しっかり最後まで締付けてください。
- ⑦ 刃物押えを取外し、研磨カバーの蝶ネジをしっかり締付けてください。
※ 刃物は大変鋭利にできています。刃先に触れたり、落としたりしないように注意してください。けがをする恐れがあります。
※ 刃物を本体に押し入れる際、刃先を本体に当てないように注意してください。刃つぶれ、刃こぼれをおこして、刃物の切れが悪くなります。
※ 刃物は、刃物取付けネジで、固く締付けてください。締付けがゆるい場合、作業中刃物がゆるんで、けが、機械故障の原因になります。

刃物研磨の仕方

※ 以下のような場合は、刃物の研磨をお勧めいたします。

- ・ ネギが薄くきれいに切れなくなった場合
- ・ ネギが逃げて片切れするような場合
- ・ 切ったネギが、つぶれたようになって出てくる場合
- ・ 機械に異常がなくても、60分以内に頻繁に機械がストップするような場合

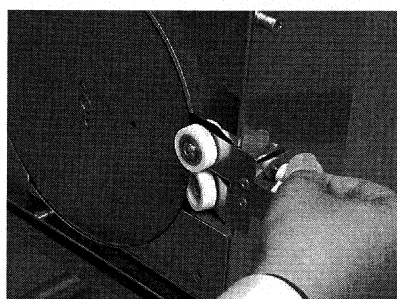


① 電源プラグを抜き、スイッチが「切」になっていることを確認してください。

② 安全カバー、投入口を取外してください。(安全カバー、投入口着脱の仕方参照)

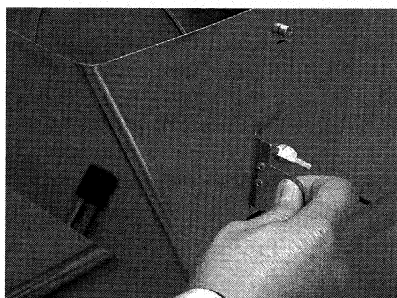
③ 蝶ネジを取外して、研磨カバーを取外してください。

注) 研磨カバーを外すと、刃物の一部が剥き出しになります。刃物は鋭利ですので、刃先には絶対に触れないように注意してください。けがの恐れがあります。



④ 研磨装置の左右の砥石で、刃物をはさむように本体にセットし、蝶ネジで締付けてください。この時、刃物表面(手前)側の砥石は、刃物表面に対して、水平で、表面に少しすれるくらいにセットしてください。

注) 研磨装置を斜めに取付けて、刃物研磨を行うと、うまく研磨できないばかりか、かえって刃物の切れを悪くする恐れがありますので注意してください。



⑤ 安全カバーを取付けてください。(安全カバー着脱の仕方参照)

注) この機械には、安全装置がついており、安全カバーを取付けないと動かないようになっております。

⑥ 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「入」にし、機械を動かしてください。

⑦ 研磨装置のレバーを軽く押し込むようにして、砥石を刃物の斜め部分(刃物の裏側)に5~10秒程度当て、研磨をしてください。(研磨時間は、刃物の磨耗状態で変わります。)

注) レバーは強く押し込まないようにしてください。砥石が破損したり、刃物の切れが、かえって悪くなる恐れがあります。

⑧ 刃物の斜め部分の研磨が終わったら、今度は、レバーを手前に軽く引き、砥石を刃物の平らな部分に2秒程度当て、カエリを取ってください。

注) レバーは強く引かないようにしてください。砥石が破損したり、刃物の切れがかえって悪くなる恐れがあります。

⑨ 研磨終了後、スイッチを「切」にし、機械を止めてください。

⑩ 電源プラグを抜き、安全カバー、研磨装置を取外してください。

⑪ 研磨カスが本体、刃物に付着しますので、必ず、水で流すか、湿らせたタオル等で拭き取ってください。

注) 研磨装置は必ず取外し、濡らさないように注意して保管してください。故障の原因になります。

注) 砥石は、割れやすいので、落としたりしないように注意してください。

注) 刃物は鋭利ですので十分注意してください。けがの恐れがあります。

⑫ 研磨カバーを蝶ネジで取付けてください。

注) 研磨カバーは、必ず取付けてください。けがの原因になります。

⑬ 投入口、安全カバーを取付けてください。(投入口、安全カバー着脱の仕方参照)

※ 刃物の平らな面に、斜めに刃を付けてしまうと、切れが極端に悪くなりますので注意してください。

※ ひどく切れが悪くなった刃物は、研磨が難しくなりますので、こまめに研磨することをお勧めいたします。

※ うまく研磨ができない場合は、工場での有料研磨も行っています。

機械停止時の対処の仕方

- ◆ 作業中モーターの温度が上がリ、サーマルプロテクター（安全装置）が作動して、機械が停止した場合
 1. 直ぐにスイッチを **切** にしてください。
 2. 30分程度機械を放置し、モーターの温度が下がるのを待ってください。
 3. モーターの温度が下がった場合、スイッチを入れると再び動き出します。
 - ※ モーターの温度を下げるために、機械に水をかけたり、水に浸けたりしないでください。感電、機械故障の原因になります。
 - ※ 30分程度放置した機械でも、モーターの温度が完全には下がりませんので、短い使用時間で再び停止します。
 - ※ その日初めての使用でも、短い時間で頻繁に停止するようですと、刃物の切れが悪いことが考えられますので、刃物の研磨をしてください。（刃物研磨の仕方参照）
- ◆ 食材が機械に詰まった場合
 1. 直ぐにスイッチを **切** にし、電源プラグを抜いてください。
 2. 安全カバー、投入口を取外してください。（安全カバー、投入口着脱の仕方参照）
 3. 詰まった食材を取除いてください。
 4. 安全カバー、投入口を取付けてください。（安全カバー、投入口着脱の仕方参照）
 5. 電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを入れ、空運転をして異常がないか確認してください。
 6. 異常がない場合、引き続き作業を続けてください。
 7. 機械が動かない、異音がする等の異常がある場合は、直ぐにスイッチを切り、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
 - ※ 危険ですので、詰まった食材を取除く場合、必ず、安全カバー、投入口を取外してから行ってください。けが又は、機械故障の原因になります。
 - ※ 頻繁に食材が詰まる場合、刃物の切れが悪いことが考えられますので、速やかに、刃物を研磨してください。（刃物研磨の仕方参照）機械故障の原因にもなります。

お手入れの仕方

- ① お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ② 安全カバー、投入口、研磨カバーを本体より取外し、水洗いしてください。
 - ③ 刃物は熱湯に30秒くらい、浸け置き後に水洗いしてください。
 - ④ 本体の刃物取付け部分及び、ゲージプレート部分は、水洗いが可能ですので、水洗いしてください。
 - ⑤ 水洗い後、乾いたタオル等で、水滴を拭き取ってください。
- ※ 熱湯を使用する場合、やけどには十分注意してください。
 - ※ 刃物は鋭利ですので、取扱いには十分注意してください。
 - ※ 刃物を汚れたまま使用すると、切れが極端に悪くなりますので、使用后必ず洗浄することをお勧めいたします。
 - ※ 洗剤を使用する場合は、必ず中性洗剤を使用してください。
 - ※ 安全カバー、刃物、研磨カバーは、煮沸及び、洗浄機の使用が可能です。
 - ※ 投入口は、一部プラスチックを使用していますので、80度以下で洗浄してください。
 - ※ 本体の内部、及びモーターカバー部分には水をかけないでください。感電、機械故障の原因になります。
 - ※ 汚れ、水滴は、衛生面だけでなく、機械故障の原因にもなりますので、こまめに拭き取ることをお勧めいたします。
 - ※ 指定場所以外のネジをゆるめたり、本体を分解したりしないでください。機械の性能低下、感電、機械故障の原因になります。
 - ※ この機械は精密機械ですので、衝撃を与えないように、取扱いには十分注意してください。

ちょっとお調べください

症 状	原 因	処 置
動かない	電源プラグが抜けている	電源プラグをしっかりとコンセントに差し込んでください
動かない	安全カバーが取付けられていない、又は所定の位置に取付けられていない	安全カバー着脱の仕方を参照して、確実に取付けてください
切れない	厚さ調節が0 mmになっている	調節つまみを回して好みの厚さに設定してください
うまく切れない	投入口の取付けがおかしい	投入口を取付け直してください
薄く切れない	刃が切れない	刃物研磨してください
きれいに切れない	刃が切れない	刃物研磨してください
機械が急に停止した	モーターサーマル作動	機械停止時の対処の仕方参照
機械が急に停止した	食材が機械に詰まった	機械停止時の対処の仕方参照

食材切り長さ参考表

投入口角度		厚さ	1 mm	2 mm	3 mm	5 mm	10mm	15mm
		食材径						
30° (標準)		φ 20	42mm	44mm	45mm	49mm	57mm	66mm
		φ 25	52mm	54mm	55mm	59mm	67mm	76mm
		φ 30	62mm	64mm	65mm	69mm	77mm	86mm
		φ 35	72mm	74mm	75mm	79mm	87mm	96mm
35° (OP)		φ 20	36mm	38mm	39mm	42mm	49mm	56mm
		φ 25	45mm	46mm	48mm	51mm	58mm	65mm
		φ 30	54mm	55mm	57mm	59mm	67mm	74mm
		φ 35	62mm	64mm	65mm	68mm	75mm	82mm
40° (OP)		φ 20	32mm	34mm	35mm	37mm	43mm	49mm
		φ 25	40mm	41mm	43mm	45mm	51mm	57mm
		φ 30	48mm	49mm	50mm	53mm	59mm	65mm
		φ 35	56mm	57mm	58mm	60mm	66mm	72mm
25° (OP)	調節式投入口のみ可能	φ 20	50mm	52mm	54mm	58mm	69mm	80mm
		φ 25	61mm	63mm	66mm	70mm	81mm	91mm
		φ 30	73mm	75mm	77mm	82mm	92mm	103mm
		φ 35	85mm	87mm	89mm	94mm	104mm	115mm
20° (OP)		φ 20	61mm	64mm	67mm	72mm	86mm	100mm
		φ 25	76mm	79mm	81mm	87mm	101mm	114mm
		φ 30	91mm	93mm	96mm	102mm	115mm	129mm
		φ 35	105mm	108mm	111mm	116mm	130mm	144mm
15° (OP)		φ 20	81mm	85mm	89mm	96mm	115mm	133mm
		φ 25	100mm	104mm	108mm	115mm	134mm	153mm
		φ 30	120mm	123mm	127mm	135mm	153mm	172mm
		φ 35	139mm	143mm	146mm	154mm	173mm	191mm

- ※ 機械仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- ※ 食材切り長さ参考表は、食材の径にバラツキがなく、曲りがない場合の理論値です。
- ※ 調節式投入口は、角度専用投入口より仕上がり程度は悪くなります。

機械仕様

機械寸法（幅×奥行×高さ）、重量	333mm×405mm×491mm、14Kg
定格周波数	50／60Hz
定格電圧、電流、消費電力	100V、0.6A／0.7A、55／69W
定格時間	60分
投入口角度（標準）	30°
投入口角度（オプション）	15°、35°、40°、調節式投入口（15°～30°）
処理能力	0.6kg／10分（50Hz投入口30°ネギ1mm厚）
	3.6kg／10分（50Hz投入口30°きゅうり3mm厚）
厚さ調節範囲	約1～15mm
安全装置	サーマルプロテクター（モーター）
	電氣的スイッチ（安全カバー取外し時）
附属品	研磨装置、刃物押え

